

## 神戸製鉄所火力発電所（仮称）設置計画に係る環境影響評価準備書に関する 兵庫県及び神戸市による検証結果

### 1 概要

平成29年10月8日に（株）神戸製鋼所の製品検査データ改ざん行為が発覚。この事態を受け、兵庫県及び神戸市は事業者に準備書の基となったデータの提示を要請すると共に、分担してデータの検証を実施、その結果については12月28日及び1月22日の兵庫県環境影響評価審査会で報告された。

### 2 検証対象の考え方

検証対象については、数値の照合（突合せ）により検証が明確に行えること、石炭火力発電所という事業特性から、施設の稼働に伴う排出ガス量、排水量が多いことから「施設の稼働（排ガス、排水、温排水、機械等の稼働）」に関する項目かつ数値データとそれを用いた予測計算の過程を検証の対象とした。

### 3 検証対象

次の3項目を対象として検証が行われた。

#### (ア) 基礎データ

- ① 発生源データ（排ガス量や排ガス濃度の測定データ）
- ② 周辺環境測定データ（窒素酸化物、COD等の既存測定データ、実測データ）

#### (イ) 将来予測の計算過程

#### (ウ) 神戸市環境影響評価審査会資料に関するデータ

### 4 検証体制

検証は、兵庫県と神戸市が連携して実施。

大気汚染防止法、水質汚濁防止法などに関係することから発生源データについては神戸市が検証を行い、周辺環境測定データについては、主として兵庫県が検証を行った。将来予測の計算過程は兵庫県が行い、神戸市の環境影響評価審査会資料については神戸市が検証を行った。（別紙参照）

### 5 検証結果

#### (ア) 基礎データ

- ① 発生源データ（神戸市による検証）

神戸市に提出された届出値を比較精査し、誤りが無いことを確認した。

② 周辺環境測定データ（兵庫県，神戸市による検証）

事業者の測定報告書等との数値比較確認及び公共測定データとの数値相関分析を実施し，一部の数値に記載誤りがあったものの問題なしとの結論を得た。

- 兵庫県と神戸市が検証したもの
  - 周辺の一般大気測定データ
- 兵庫県が検証したもの
  - 海域データ
  - 騒音・振動・低周波音データ
  - 事業者の測定報告書等との数値比較
  - 公共測定データとの数値相関性

(イ) 将来予測の計算過程（兵庫県が検証）

大気汚染，水環境及び騒音・振動・低周波音の将来予測計算について検証の結果，いくつかに記載漏れや集計の誤りはあったものの，いずれも問題なしとの結論を得た。

(ウ) 神戸市環境影響評価審査会資料に関するデータ（神戸市が検証）

次の各項目を検証した結果，いずれも妥当な数値であることを確認した。

- 現状のばい煙排出実績
- 将来の年間排出量
- 石炭中の水銀濃度
- 排煙中の水銀濃度
- 温排水の取放水温度差
- 排水量
- 化学的酸素要求量
- 全窒素及び全燐の負荷量

検証対象の各項目について，「改ざん等の不正は認められなかった」との結論を得た。

6 検証結果に対する各審査会の対応

(ア) 兵庫県環境影響評価審査会の対応

1月28日の兵庫県環境影響評価審査会総会にて，「将来予測を除いた検証範囲について，不正等は認められなかった」との結論に至った。

1月22日の総会にて，将来予測の検証結果に対して審査の後，「検証範囲において不正等は認められなかった」との総括を公表。

(イ) 検証結果に対する神戸市環境影響評価審査会の対応

2月1日の審査会にて「提出資料が不十分なため審査不可能」として、審査延期を決定。

2月19日の審査会にて「検証範囲において意図的な改ざんは認められなかった」との結論に至り、答申内容をまとめた。

以 上